

様式 2

2019 年度事務事業評価シート

事業番号	1-1-3	所 管 課	総合ボランティアセンター
事業名	手話通訳者派遣事業	開始年度	昭和 61 年度

1 事業の概要

対象 (～に対して)	手話通訳者派遣については、足立区在住の聴覚障がい者。 研修会については、登録している手話通訳者。
目指す姿 (～という状態にするために)	聴覚障がい者および音声言語機能障がい者の方への十分な意思疎通支援ができるようにする。
事業内容 (～を行う)	聴覚障がい者および音声言語機能障がい者の社会生活を支援するため、手話通訳者を派遣する。また、手話通訳者の技術向上のため、年 7 回の研修会を開催する。

2 事業費の推移と財源区分

(E)平均人件費 6,000,000 円(人/年)

年度	平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	2019 年度予算
(A)事業費(円)	6,676,228 円	5,996,391 円	8,284,000 円
(B)概算職員数(人)	1.2 人	1.2 人	1.2 人
(C)=(B)*(E)人件費(円)	7,200,000 円	7,200,000 円	7,200,000 円
(D)=(A)+(C)総事業費(円)	13,876,228 円	13,196,391 円	15,484,000 円
財源区分	区委託金	区委託金	区委託金

3 活動指標

指標名	聴覚障がい者支援の推進	項目	平成 29 年度	平成 30 年度	2019 年度
		目標値	推進	推進	推進
定義等 (単位)	推進	実績値	推進	推進	
		達成度			

※ 指標が 2 つ以上ある場合(変更)は表を追加して下さい。

4 事業の項目別評価(分析)

項目	1 次評価	2 次評価	3 次評価
有効性	4	4	4
将来性	2	1	1
必要性	2	2	2
顧客満足度	4	4	4
総合評価	3	3	3

5 特記事項

「将来性」・「必要性」は事業そのものの評価ではなく、“社協が行う” という意味での将来性・必要性としている。
--

6 1次（所管課）評価

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
理由	障害者総合支援法の施行に伴い、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援することが重要であるため、継続して事業を展開していく。		
今後の方向性	<p>当面は現状維持とするが、以下の課題があるため、将来的には手話通訳者が所属するNPO法人に事業移管としたい。それに向けて委託元である障がい福祉課と協議を進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合理的配慮の義務化・努力義務化に伴い、主催者が用意すべき事例と、当事業を活用できる事例とが混在しており、利用者に混乱が見受けられる。また、当センターでも判断に迷う依頼が増えており、委託元（障がい福祉課）に指示を仰がなくてはならない事案が増加している。 ・主催者用意の際に手話通訳者を手配している区内のNPO法人に所属する手話通訳者と、当会に登録している手話通訳者の大半が重複しているため、通訳者の手配が難しい日が増えて来ている。また、同じ利用者・通訳者の組み合わせであっても、NPOではできるが社協ではできない（もしくはその逆）ルールなどもあり、利用者側・通訳者側双方に混乱が見受けられる。 ・登録通訳者向けの研修について、テーマが通訳現場に必要な知識・技能となっており、通訳者ではない当センター職員だけでは企画ができず、実質的に通訳現場をよく知るNPO法人の協力なくして実施できていない状態になってきており、少なくとも研修業務は先行してNPO法人への再委託や事業移管を進めていきたい。 		

7 2次（幹部）評価

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	<p>1次評価で指摘されているとおり、合理的配慮の義務化・努力義務化に伴う、通訳者派遣コーディネートの複雑化と業務の煩雑さを解消していくためには、現状NPO法人への派遣窓口一本化以外改善策はない。NPO法人の対応力や受託意向といった点も考慮に入れ、当面は現状維持とするが、起こっている課題とその対処について区と共有し、将来的にはNPO法人へ手話通訳者派遣事業を一本化できるよう調整を進めることが利用者にとっても通訳者にとっても望ましいと考える。</p>		

8 3次(外部評価委員会)評価

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	<p>聴覚障がい者等の社会生活を直接支えている点については評価できる。一方で、障がいのある人への合理的配慮の観点等から、支援内容がNPO法人と異なっており、利用者にとっては混乱が生じている。利用者、手話通訳者から意見等を徴取し、NPO法人への窓口一本化に向け、区と検討すること。</p>		

9 3次評価(実施していない場合は2次評価)を踏まえた今後の方針

方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
理由等	<p>当事業は足立区からの委託事業であるため、現状の課題等を踏まえ、窓口一本化について委託元（福祉部障がい福祉課）と見直しに向けた検討を行う。</p>		